

つれづれ

平成29年11月11日(土)

命を大切に



最近読んだ本に次のように書いてありました。
「命と申すものは、一切の財たからの中の第一の財たからなり」

これは、鎌倉時代の僧侶である日蓮上人にちれんしょうにんが、建治2年(1267年)に身延山(現在の山梨県)でしたためた手紙の一節です。この一節は、すべてのものの命を生かすことの大切さを説いています。

先日の全校朝礼では、今年6月に起きた、東名高速道路でご夫婦がお亡くなりになった凄惨な事件について話をしました。最近の各種報道では、連日のように殺人事件などの凶悪犯罪が流されています。このような報道に触れるたび、いったい日本という国はどうなってしまったのだろう、これからどうなっていくのだろうと思うばかりです。世界有数の治安のよさを誇りとしてきた国だけに、不安を感じずにはられません。とりわけ、人の命を軽視するような事件が後を絶たないのが残念です。

日蓮上人が命の大切さを説くように、仏教では、すべてのものに仏の命があると教え、その大切さを伝えています。これを「山川草木悉有仏性さんぜんそうもくしつうぶつしょう」という言葉で表しています。

だから、自分の命も、人に命も大切にしなければならないのです。ましてや、自殺するという考えは、決してもつべきではないと教えています。

皆さんの命は、自分だけのものではありません。直接的には親から受け継いだものであり、遡さかのぼれば先祖から連綿つなと繋がってきたものなのです。そして、この命を次の世代に引き継いでいくことになるかもしれません。

命は得難いものであり、さまざまな恩恵により保たれていることも忘れてはなりません。自分の命、他人の命、生きとし生けるものの命を大切にできる皆さんであってほしいと思います。

<保護者の皆様へ>

学校ホームページで、日々の教育活動のようすを公開しています。どうぞ、本校ホームページを閲覧してください。
【大阪市教育委員会 天下茶屋中学校】で検索



QR code

天下茶屋中学校HP → <http://swa.city-osaka.ed.jp/swas/index.php?id=j762750>